

自然環境に配慮した造成についての再度の提案と要望 2

大柏川第二調節池連絡会
2024年 7月31日

(1) 湧水を保全していただきたいと思います。

①上池上流部の掘削で左岸2か所、右岸1か所の湧水（自噴泉）が見つかっています。今後、上池中流部左岸の掘削でも湧水が見つかる可能性があります。これらの湧水の周囲を深さ50cm掘り下げて湧水池を作つて保全してください。築造後では重機の再度投入など手戻りのロスがありますので、現工事中に環境対策として施工できるようご検討をお願いします。

②保全区域のハンノキ林に工事区域外から流入するL12とL13の水が必要です。これらの細流が周囲堤で遮断されないようにしてください。また、L12とL13の水源は鎌ヶ谷市中沢と船橋市藤原の境界周辺にあり、水源地が枯れないよう両市に働きかけてください。

(2) 生物多様性に配慮していただきたいと思います。

①昨年12月のお話では「生態系調査は工事前に実施しており築造後は整備と関係ないので予算がつかず実施は困難」との事でしたが、生物多様性に配慮して工事をするためには随時に保全対策をとれるよう生物の生息を把握する必要があるのではないかでしょうか。築造中の生態系調査を実施していただきたくお願いします。

②タコノアシやミクリなど重要種を新橋近くの池（移植池）に移植しアダプト制度で二池連絡会が維持管理と観察をしてきましたが、大柏川の護岸補修工事で大半が埋められました。昨年12月のお話では「タコノアシなど希少種が出てくれば移植する」との事でしたが、どこに移植するのでしょうか。重要種を避難させるため再度、移植池を作つてください。維持管理に二池連絡会は協力いたします。

(3) 調節池は3年足らずに完成することですが、その後の多目的利用（上部利用）はどうなるのでしょうか。多目的利用の検討と維持管理に関する見解をお聞かせください。

(4) 5月の見学では中央の通路を往復するしかできませんでした。再度、ハンノキ林内を含む保全区域の見学をお願いしたいです。

以上。